

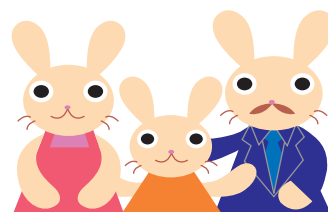
ダイジェスト版

相模原市教育委員会

編集：相模原市教育センター

家庭でできる性教育

# さわやか



このパンフレットは、時代の変化や現在の子どもの性にかかわる環境や実態を踏まえ、家庭における活用を目的とするものです。

## ＊ ＊性に関する指導のめざすもの＊ ＊

～心豊かで、幸せな毎日を送るために～

人間は、様々な人との関わりをもちながら生活を営み、自分はどのように生きるべきか、いろいろな生活場面を通して考え、判断し、行動します。

私たちは、多様な価値観が存在する社会の中で生活しています。その中で互いに相手を認め、理解し、尊重し合って生きていくことが大切です。日々の生活を通して、人としての在り方(人格)、人間らしさ(人間性)、人と人との関わり方(人間関係)を自己の成長とともに学び、自覚する中で性が確立されていきます。

性は本来人間が「心豊かに幸せに生きる」上で最も基本的なものの一つです。これからの性に関する指導は、性のもつ身体的側面・精神的側面・社会的側面に視点をあてながら、生命を尊重し愛に根ざしたよりよい人間関係を求めた自己実現の教育として考えていく必要があります。そのためには発達段階に応じて次のような心や態度を身に付けていくことが大切です。

● かけがえのない生命の大切さを知り、生命を慈しみ尊重する心や態度を育てましょう。

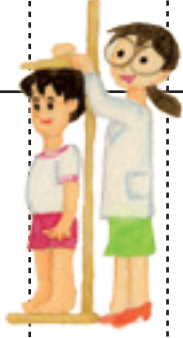
● 性に関する正確な知識を身に付けるとともに、多様な性を理解する心を育てましょう。

● 互いを尊重し合うことの大切さを理解し、よりよい人間関係を築こうとする心や態度を育てましょう。

こうした心や態度をはぐくみながら、一人ひとりが人生の中で性と向き合うとき、自ら考え、判断し、責任ある行動をとることができるよう、学び続けていくことでしょう。

# からだの変化と心の発達

※心やからだの発達には個人差があります。一般的なものについて掲載しました。

|        | 幼児期  |    |    |    |    | 児童期  |    |    |    |    | 思春期   |     |     |     |     |
|--------|--|----|----|----|----|--|----|----|----|----|---|-----|-----|-----|-----|
|        | 0歳   | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳   | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10歳   | 11歳 | 12歳 | 13歳 | 14歳 |
| からだの変化 | 男女の差が少ない   |    |    |    |    | 女子が男子の体格を上回る   |    |    |    |    | からだが大きくなり、がっしりとしたからだつきになる(男子)<br>からだが大きくなり、丸みのあるからだつきになる(女子)  |     |     |     |     |
| 成長段階   |             |    |    |    |    | からだに関する関心<br>基本的な生活習慣・しつけの形成<br>初期の道徳性発達<br>性的関心と疑問<br>親との同一視<br>性差の自覚                                       |    |    |    |    | 思春期への準備<br>自己の誕生への関心<br>ギャングエイジ<br>思春期の心とからだの変化<br>思春期の不安と動揺<br>性への関心<br>進路の選択  |     |     |     |     |
| 心の発達   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■いろいろなことをひとりでできるようになる</li> <li>■ごっこ遊びなどをする</li> </ul> |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■知的探求心が発達し、よく質問をするようになる</li> <li>■仲間としての意識が強くなり、集団で遊ぶようになる</li> </ul> |    |    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■自我の確立に伴い、権威に対する反抗や自己顕示欲が高まる</li> <li>■性への関心が強まったり、性的欲求が高まったり、性に関する悩みが増える</li> </ul> |     |     |     |     |

## ＊ ＊ 性に関する指導における家庭の役割 ＊ ＊ ～性に関する指導の基盤は家庭にあります～

## ＊ ＊ 近年の性に関わる情報 ＊ ＊

相手の立場に立って考える体験を  
子どもの思いを十分受け止めた上で「ところで相手はどう思っているんだろう」という発想を身に付けさせましょう。

自分を大切にする姿勢を  
子どもは自分自身を肯定できると、自分以外の周りの人も同じように大切な存在だと分かります。大切にされていると感じる体験を積み重ねましょう。

自分で判断し行動できる力を  
日頃から「～しなさい」と押しつけるのではなく、できるだけ自分の考えで判断する機会を与え、その結果に責任をもたせるようにしましょう。

集団生活の経験を  
集団生活は社会のルールを学ぶ場です。みんなと行動する体験を通して、自信や自己肯定感、自己コントロール力を身に付けさせましょう。

子どもの様子をよく観察するとともに、対話を大切にしながら、変化に気付ける関係を築きましょう。

**インターネットによる犯罪被害トラブル** 子どもたちが SNS 等のコミュニティサイトを利用して犯罪被害にあっています。困ったときには相談相手になることを伝えておきましょう。

**性的虐待** 児童虐待の一つに性的虐待があります。子どもを虐待から守るためには、小さなサインを見逃さず、その状況を早期に発見し、関係機関に相談するなど冷静に対応しましょう。

**児童買春・児童ポルノ** 子どもたちはネットで知り合った人と実際に会い、児童買春や裸の画像を撮影されるなどの被害にあっています。関係機関へ相談するなど対応を考えましょう。

**性情報の氾濫** 性を商品化した情報があふれています。子どもたちは性を軽く考えるようになり、開放的になってきています。必要な情報を正しく理解させましょう。

**性感染症** 性感染症は性行為をする誰もがかかる可能性のある病気です。10代後半から20代を中心に患者数が増加しています。正しい知識と予防法を理解させましょう。

**HIV感染症/エイズ** HIV感染ルートほとんどが性的接触によるものです。HIV感染症/エイズに対して正しく理解し、子どもの疑問に答えてあげましょう。




**子宮頸がん** 子宮頸がんは、早期発見できればその多くは治せる病気です。定期的な検診と予防について子どもに伝えましょう。ワクチン接種により感染を予防することができます。予防接種について、詳しくはお近くの医療機関又は相模原市保健所疾病対策課予防接種班（042-769-8346（直通））にお問い合わせください。

**性的指向・性自認** 性的指向とは、どのような性の人を好きになるかということです。性自認とは、自分の性をどのように認識しているかということです。同性を好きになることや、からだの性と心の性が一致せず、自分の性に違和感を持つことがあります。お子さんについて気になることがありましたら、関係機関へご相談ください。

**デートDV** 恋人同士の間で起こる暴力や暴言のことをデートDVといいます。子どもが被害者にも加害者にもならないために、周りの大人が見守り、気になることがありましたら、関係機関へご相談ください。

# \* \* 主な相談機関 \* \*

気軽にご相談ください

| こんなことで悩んだ時は…   | 相談先・連絡先   |   |
|--|---|---|
| <p>学校生活・友人関係<br/>親子関係・養育不安<br/>不登校・登校しぶり<br/>発達・学習に関する問題<br/>子どもの心に関する問題<br/>不良行為・いじめ など</p>  | <p>◆青少年相談センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央相談室</li> <li>南相談室</li> <li>相模湖相談室</li> <li>城山相談室</li> </ul>                              | <p>電話042-752-1658<br/>電話042-749-2177<br/>電話042-682-7020<br/>電話042-783-6188</p> <p><small>(来所相談：月～金午前9:00～午後5:00 要予約)<br/>(電話相談：月～金午前9:00～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p>  |
|  | ヤングテレホン相談   | <p>電話042-755-2552</p> <p>月～金午後3:30～午後9:00 土 午後1:00～午後5:00<br/>(日曜、祝日、年末年始を除く)最終受付は終了の15分前まで</p>   |
|  | Eメール相談  | <p>yantele@city.sagamihara.kanagawa.jp</p> <p>※Eメール相談は返信に数日かかります</p>  |
|  | ◆学校教育課<br>いじめ相談ダイヤル   | <p>電話042-707-7053</p> <p><small>(月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p>  |
| <p>思春期の心や体</p>   | <p>◆子育て支援センター<br/>(母子保健班)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑子育て支援センター</li> <li>中央子育て支援センター</li> <li>南子育て支援センター</li> </ul>                 | <p>電話042-775-8829<br/>電話042-769-8222<br/>電話042-701-7710</p> <p><small>(来所相談：月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)<br/>(電話相談：月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p>   |
| <p>育児やしつけなどの子育ての相談<br/>ひとり親家庭の生活全般<br/>子どもの発達や障害、療育支援<br/>子どもの虐待 など</p>  | <p>◆子育て支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑子育て支援センター</li> <li>中央子育て支援センター</li> <li>南子育て支援センター</li> </ul> <p>◆こども虐待110番(24時間通告窓口)</p> | <p>電話042-775-8815<br/>電話042-769-9221<br/>電話042-701-7700</p> <p><small>(月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話042-730-3511</p>  |
| <p>H I V感染症 / エイズ</p>   | <p>◆相模原市保健所<br/>(疾病対策課)</p> <p>◆エイズ予防財団<br/>(エイズに関する相談)</p> <p>◆感染症・予防接種相談窓口<br/>(厚生労働省)</p>  | <p>電話042-769-8260</p> <p><small>(月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話0120-177-812</p> <p><small>(月～金午前10:00～午後1:00/午後2:00～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話03-5276-9337</p> <p><small>(月～金午前9:00～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p>   |
| <p>性的指向や性自認に関する<br/>悩み等の相談窓口</p>   | <p>◆青少年相談センター</p> <p>◆学校教育課</p> <p>◆児童相談所</p> <p>◆精神保健福祉センター</p> <p>◆かながわSOGI派遣相談(派遣型相談)</p> <p>◆SHIP・ほっとライン(NPO法人)</p>                             | <p>電話042-752-1658</p> <p><small>(月～金午前9:00～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話042-704-8916<br/>電話042-730-3500<br/>電話042-769-9818</p> <p><small>(月～金午前8:30～午後5:00 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話045-210-3637 (予約・問合せ)</p> <p><small>(月～金午前8:30～午後5:15 土日、祝日、年末年始を除く)</small></p> <p>電話045-548-3980</p> <p><small>(毎週木曜午後7:00～午後9:00)</small></p> |
| <p>デートDV等の相談</p>   | <p>◆配偶者暴力相談支援センター<br/>DV相談専用電話</p>  | <p>電話042-772-5990</p> <p><small>(毎日 午前10:00～午後5:00 火・木は午後6:00まで、<br/>第4月曜日、年末年始を除く)</small></p>   |

家庭でできる性教育「さわやかダイジェスト版」は、小学校及び義務教育学校1学年の家庭に配付しています。

家庭でできる性教育「さわやかダイジェスト版」

令和3年4月発行

発行／相模原市教育委員会

編集／相模原市教育局学校教育部教育センター

〒252-0239 相模原市中央区中央3丁目12番10号

電話 042-756-3647 (直通)

FAX 042-758-8146